

Title	経済学会事業報告(昭和60年度)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1986
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.79, No.2 (1986. 6) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19860601-0136

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会会則

- 第1条 本会は慶應義塾経済学会（The Keio Economic Society）と称する。
- 第2条 本会は経済学の研究およびその奨励，ならびに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
- 1 研究会の開催
 - 2 機関誌「三田学会雑誌」およびその他研究成果の刊行
 - 3 講演会，資料展覧会の開催
 - 4 他の学会および諸団体との連絡
 - 5 その他本会の目的を達成するため適当と認める事業
- 第4条 本会は慶應義塾大学経済学部所属専任者のうち経済学を専攻する者をもって組織する。ただし特別会員をおくことができる。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- | | | | |
|-------|-----|--------|----|
| 1 会長 | 1名 | 2 副会長 | 1名 |
| 3 委員長 | 1名 | 4 副委員長 | 1名 |
| 5 委員 | 若干名 | 6 監事 | 2名 |
- 第6条 会長，副会長，委員長，副委員長，委員および監事は，総会において決定する。
- 第7条 会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐する。委員は委員会を組織し会務を執行する。委員長は委員会を代表し会務を統轄する。副委員長は委員長を補佐する。監事は会計を監査する。
- 第8条 会長および副会長の任期は1年，委員長，副委員長，委員および監事の任期は2年とする。ただし，再選を妨げない。
- 第9条 会長は年一回総会を招集する。ただし必要に応じ臨時総会を招集することもできる。
- 第10条 会員は機関誌「三田学会雑誌」およびその他本会刊行物の配布を受けることができる。
- 第11条 本会の経費は賛助金，補助金，会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 第14条 本会の事務所は慶應義塾経済学部研究室内に

置く。

経済学会委員（1986.4 改選）

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 会 長 | 安川正彬 | | |
| 副 会 長 | 飯田 鼎 | | |
| 委 員 長 | 浜田文雅 | | |
| 副委員長 | 小松隆二 | | |
| 委 員 | 佐々波楊子 | 大山道広 | 中澤敏明 |
| | 杉山伸也 | 辻村和佑 | 杉浦章介 |
| | 細田衛士 | 延近 充 | 矢野 久 |
| 監 事 | 富田重夫 | 平野 絢子 | |

経済学会事業報告（昭和60年度）

<刊行物>

三田学会雑誌78巻1号から78巻6号まで刊行
Keio Economic Studies Vol. 21, No. 1, No. 2を刊行

<報告会>

- 6月13日 「ナチス・ドイツにおける製鉄業労働者の社会状態史」 矢野 久
- 6月27日 「チュナリーの工学的生産関数と情報処理」 赤林由雄

<特別報告会>

- 5月24日 「マクロ経済学についての若干の私見」
コロンビア大学教授 佐藤和夫
- 5月31日 「Quality Testing and Disclosure」
ペンシルバニア大学経済学部長
Andrew Postlewaite
- 6月27日（小泉基金，商学会共催）
「自由貿易定刻主義の意義について」
ロンドン大学 David McLean
- 7月18日 「貿易構造変化の分析——Sources of Change in Factor Intensity of Tradeを中心として——」世界銀行調査役 浦田秀次郎
- 9月18日 「The Behavior of a Rationed Firm」
バーミンガム大学教授 Prasanta K. Pattanaik
- 11月8日 「Dinamic Effects of Anticipated Fiscal Policy Changes」大阪大学教授 青木正道
- 12月20日 「The Freedman—Savage Hypothesis and the Downward Sloping Liquidity Preference Schedule」
神戸商科大学助教授 本多 佑三

1月17日（小泉基金共催）「硬直的財価格・伸縮的
資産価格・独占的競争・金融政策」
国際経済研究所教授 Lars O. Svensson
2月6日 「Neuere Historisch—Demographische
Forschung」 Freie Universitat Berlin
慶應義塾大学訪問教授 Arthur E. Imhof
「Probleme zur Untersuchung der
Kirchenbuecher des Wuppertals」
Instus-Liebig-Univ .Giessen 村山 聡
<会長講演会>
12月12日 「労働者協同組合について」黒川俊雄
<経済学会シンポジウム>
9月19日～20日 「経済学における発展の問題」
参加者 18名

会 場 熱海シャトーテル赤根崎
第1日「日本経済の長期的発展」
報告者 斎藤 修
討論者 杉山伸也
「長期構造政策としての雇用減税」
報告者 浜田文雅
討論者 川又邦雄
「経済発展の理論と現実」
報告者 鳥居泰彦
討論者 佐々波楊子
第2日「経済厚生拡大と市場集中」
報告者 中澤敏明
討論者 島田晴雄